

鉄道ピクトリアル

2014年8月号増刊 Vol.64 No.8 通巻No.893

<特集> 京王電鉄

■表紙 特急高尾山行き9000系……………焼田 健

めじろ台-狭間 2014-6-4

キヤノンEOS 5DMark II EF100-400mm F4.5-5.6L IS 絞り f11 タイム1/125 ISO100

■グラフィック

京王日和 (1~8・172~173ページ)

高野昌法・宮川政樹・細矢和彦・大沼一英・小林 拓
……………浜村正弘・戸塚光弘・早川昭文・守永久光・杉崎健一
山口大助・関根敏男

地方私鉄で活躍する元京王の車両 (169~171ページ)

……………佐藤利生・遠藤 武・清水敏史・石原裕紀ほか
'70~80年代の京王帝都 (174~175ページ)

……………千田正哉・太田正行・佐藤利生
坂戸直輝コレクション 昭和33年頃の京王帝都電鉄沿線案内 (176ページ)

……………所蔵と解説: 坂戸直和

*

50年前の京王線新宿駅界限……………花上 嘉成… 73

京王帝都電鉄1950~60年代の情景から……………伊藤 昭・伊藤威信… 78

京王八王子・北野付近 旧景……………構成: 編集部… 82

「行先方向板」終焉間際の記録……………手塚 正雄… 84

2600形 最後の活躍の頃……………手塚 正雄… 86

京王線輸送の風景 / 井の頭線輸送の風景……………構成: 編集部…177

ニュータウン鉄道開通前後 相模原線の記録……………構成: 編集部…182

京王躍進の立役者 6000系のあゆみ……………構成: 編集部…186

60年前の井の頭線永福町車庫……………山岸庸次郎…192

■本文

今月の話題: 京王電鉄……………編 集 部… 9

総説: 京王電鉄……………京王電鉄(株)広報部… 10

対談: 京王電鉄の鉄道事業を語る……………高橋泰三・今城光英… 18

輸送と運転 近年の動向……………京王電鉄(株)鉄道営業部… 26

営業設備とサービス……………京王電鉄(株)鉄道営業部… 38

駅管区・乗務区のあらまし……………京王電鉄(株)鉄道営業部… 43

車両総説……………京王電鉄(株)車両電氣部… 48

工場・車両基地の概要……………京王電鉄(株)車両電氣部… 55

変電・電力設備の概要……………京王電鉄(株)車両電氣部… 64

線路と保線……………京王電鉄(株)工務部… 68

信号保安・通信設備の概要……………京王電鉄(株)車両電氣部… 89

調布駅付近連続立体交差事業の概要……………京王電鉄(株)工務部… 95

*

昭和の京王電鉄 車両補修に携わって……………高橋孝一郎…104

京王電鉄とともに一植松利雄氏の京王電鉄時代……………構成: 今津直久…114

半世紀前の京王線……………高須 清…121

京王電鉄高尾線の移り変わり……………鈴木 洋…126

京王相模原線の40年……………今田 保…131

1970年代から80年代の京王線……………山田 康介…138

30年前の「井の頭線車窓ハイキング」……………堤 一郎…146

京王電鉄静寂を求めて巡る4駅……………大沼 一英…155

京王電車全線歩き乗り記……………根本 幸男…160

京王線220形をめぐって昇圧後に活躍した14m旧形車……………鈴木 洋…167

23形という電車……………澤内 一晃…193

京王5000系・5100系冷房車のいま……………岸上 明彦…198

伊予鉄道700系 京王時代の車両番号に関する検証……………舟本 勇介…210

京王電鉄譲渡車 この30年……………藤田 吾郎…212

京王車両一音と色……………中山 嘉彦…219

京王電鉄現有車両プロフィール2014……………藤田 吾郎…225

〔編成表 / 主要車歴表 / 現有車両主要諸元表〕

後部車から……………291

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット: 松本一雄

京王電鉄

京王電鉄は新宿を起点として八王子に至る京王線(軌間1372mm)、渋谷-吉祥寺を結ぶ井の頭線(軌間1067mm)を中心に、東京都西部および神奈川県北部に路線網を展開する大手民鉄である。京王線は都営地下鉄新宿線と相互直通運転を行っており、輸送は多摩ニュータウンを沿線に持つ相模原線をはじめとして通勤通学輸送が主体となっているが、高尾線は観光・行楽輸送の役割も担っている。全線の営業キロは84.7kmと路線規模は関東の大手民鉄9社中8位であるが、一日平均の旅客輸送人員は増加傾向にあって約173万人(2013年3月末現在)、一日1キロ平均の輸送人員は約23万7千人で同4位となっており、輸送の密度は高い。本社は聖蹟桜ヶ丘に所在している。歴史的には前身の京王電気軌道が1913(大正2)年4月に笹塚-調布間を開業したのが嚆矢であり、昨年(2013年)開業100周年の節目を迎えた。

近年は在籍する営業車両をすべてVVVFインバータ制御車に統一し、効率化を促進するとともに、全線に新型ATCを導入して運転保安のいっそうの充実を図っている。2014(平成26)年度末に事業完了が予定される調布駅付近連続立体交差事業では、国領、布田、調布の各駅が地下化され、相模原線の分岐駅である調布駅を地下2層構造のホームに一新して平面交差を解消、あわせて相模原線に特急を新設するなど、輸送サービスの利便性向上が進められた。また、2013(平成25)年の電車・バス開業100周年では多彩な記念行事が行われたが、なかでも規模を拡充し新たにオープンした京王レールランドは好評を博している。今後は笹塚-仙川間の連続立体交差化事業の計画などの進捗が注目され、2世紀目に入った京王電鉄のさらなる躍進が期待されるところである。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan